

自分らしく輝く

Free Style

レシピの会

料理は女のしごと、男は台所に入るもんじゃない。そんな時代を生きてきた男性たちが、今、料理にチャレンジしています。エプロン姿でわいわいと料理する男性たちを紹介します。



▲この日のメニューは手打ちそばでした

Q 皆さんはどんな仲間なのですか？

A 「男の料理教室（※1）」の卒業生です。「卒業してもこの仲間と料理を続けたい」という声があがり、平成18年に団体を立ち上げました。25人のメンバーで毎月1回集まって料理を作っています。

Q レシピの会の楽しいところは？

A 最初は手際がわるく、時間もかかっていたけど、毎月の練習で今ではだいぶ上達しました。料理って意外と楽しいものですよ。

◆メンバーの皆さんの声

- ◆料理は、我が家では妻とわたしの分担制です。私が朝ごはん、妻がお昼と晩ご飯。食器洗いは私がやります。働いていたころは全部妻任せだったけど、退職してからは2人で協力してやっています（笑）
- ◆私は、妻が数年前に亡くなってから料理をするようになりました。レシピの会で覚えたことが毎日役に立っています。

- ◆料理はずっと妻に作ってもらっていたので、わからないことだらけ。だけど「ボランティア愛（※2）」の女性たちが先生となって献立や料理のコツを教えてくださいます。女性の仲間もできて、さらに楽しくやっています。
- ◆料理を通じて出会ったこの仲間たち。「古い」とともに楽しむ大切な仲間です。



▲仲間と作った手料理の味は格別です

◆編集後記

できあがったそばを食べながら「今日のそばは特別うまい！」「次の献立は何にしようか」と話が弾む皆さん。慣れない料理に奮闘する真剣な表情と楽しそうな笑顔がとても新鮮でした。

皆さんのご家庭では、食事の支度や片付けを特定の誰かに任せきりではありませんか？毎日の家事も夫婦や家族で協力してみましよう。



★料理を通じて仲間づくりしたい男性の皆さん、レシピの会で一緒に楽しく活動しませんか？興味のある方は田原福祉センターへお問い合わせください。（☎23局0610）

※1 「男の料理教室」

年配男性に調理の楽しさを知ってもらい、食や健康に興味をもってもらうための料理教室（主催／田原市社会福祉協議会）

※2 「ボランティア愛」

福祉施設や病院で介助やリハビリ援助などの活動をするボランティア団体